



東京湾再生官民連携フォーラム 平成 27 年度 第 1 回企画運営委員会

1. 開催日時 平成 27 年 5 月 26 日 (火) 13:00~14:45

2. 開催場所 スタンダード会議室 虎ノ門 SQUARE

所在地: 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-15-10 名和ビル 4 F

3. 議事

《審議事項》

- (1) 平成26年度活動報告(案)及び決算(案)について
- (2) 平成27年度事業計画、予算(案)について
- (3) 新 PT 設立申請について
- (4.) 東京湾大感謝祭 2015 実行委員会との覚書について

《報告事項》

- (1) CSR-NPO未来交流会(マッチング)及びポータルサイトについて
- (2) 生物多様性民間参画パートナーシップへの参加について
- (3) 東京湾大感謝祭 2014 平成 27 年度日本港湾協会企画賞受賞報告
- (4) 東京湾再生のための行動計画(第二期)への指標提案について
- (5) ISO14001、環境マネジメントシステム国際規格の改定について
- (6) その他(平成 27 年度 PT 活動状況)

4. 出席者

來生委員長、中村委員、岡田委員、中井委員、井下委員、 笛木委員、工藤委員、  
田久保委員、木村委員、竹口委員、田中代理、露木委員、加藤委員、小谷野委員、根木委員  
松尾代理 鈴木委員、林委員、須藤委員、武井委員、  
細川(事務局)、中原(国交省港湾局)

5. 議事メモ

5-1 開会

資料の確認(事務局)

- (1) 開会挨拶(議長)

・本日はどうぞよろしくお願ひいたします。早速議事に入ります。

5-2 議事

《審議事項》

- (1) 審議事項 1. 「平成 26 年度活動報告(案)及び決算(案)について」

【決定事項】

- ・フォーラム平成 26 年度活動報告(案)及び決算(案)が事務局提案通り承認された。  
(事務局 説明)



- ・平成 27 年 3 月 19 日（木）第 4 回企画運営委員に提出している 2 月までの活動報告に 3 月の活動報告を加筆して報告している。
- ・平成 26 年度は少額ではあるが黒字になる。セブン-イレブン記念財団から 2 年目のご支援と、1 団体 1 個人からご寄付を頂き決算（案）の通りの収入と支出となっている。
- ・監事 2 名から監査を受けてご承認を頂いた。ご意見として「PT の活動成果をフォーラム会員以外にも伝えるよう広報を工夫すべき」というご指摘があり、事務局としても広報に努めていきたい。

**【審議経過】**

- ・特に指摘なし。

**(2) 審議事項 2. 「平成 27 年度事業計画、予算（案）について」****【決定事項】**

平成 27 年度事業計画、予算（案）について事務局提案通り承認された。

(事務局説明)

- ・今年度の取り組みは以下の項目を計画している。
  - 1.情報量の拡充(広報活動の充実)。2.1 企業とNPO等マッチング交流会の実施(7月) 2.2 企業・行政等施設見学会の実施(11月) 2.3他団体との連携 3.PT活動支援。4.1 ロゴマークの普及活動 4.2 フォーラム参画企業の勧誘。5.東京湾大感謝祭の実施。6.総会・企画運営委員会の開催4回、政策提案への取組。
- ・予算に関しては、事業に見合った計画を立て計上している。情報交流など新しい試みに配分している。

**【審議経過】**

- ・特に指摘なし。

**(3) 審議事項 3. 「新 PT 設立申請について」****【決定事項】**

- ・東京湾再生のための行動計画の指標の活用 PT（略称：指標活用 PT）設立申請は承認された。
- ・PT 長は、国土交通省国土技術政策総合研究所 海洋環境研究室長 岡田 知也氏が指名された。

(事務局説明)

- ・参考資料 PT 設立ステップフローを参照していただき、申請受理し、事務局として内容をヒアリングし、現在、「⑧企画運営委員会での審議」の手順段階に該当している。
- ・新 PT 設立申請は、昨年度政策提案をした「指標」のフォローをする PT であり、事務局としても問題はないと考えている。
- ・東京湾再生行動計画（第二期）をサポートするミッションを提案している。
- ・東京湾再生推進会議からフォーラム議長宛てに、①データの収集、②データの分析・解釈の助言等への協力依頼が来ている。

**【審議経過】**

- ・申請者補足説明：新たに政策提案をするというよりも、すでに提案した内容を東京湾再生推進会議と歩調を合わせて政策実現するために活動していく予定。
- ・(資料 8 「東京湾再生のための行動計画 (第二期) への指標提案について」を説明。) 協力依頼の内容と新 P T の提案ミッションとは合致していると認識している。
- ・東京湾再生推進会議代表 露木委員補足説明：推進会議の分科会で審議し、指標一つ一つを議論し、フォーラムの協力、新 P T の協力が必要と判断している。

**(4) 審議事項 4. 「東京湾大感謝祭 2015 実行委員会との覚書について」****【決定事項】**

- ・東京湾大感謝祭 2015 実行委員会との覚書が承認された。  
(事務局説明)
- ・東京湾大感謝祭はたくさんの人との関係で成り立っている。このための組織、役割分担などを含めて、実行委員会が運営ルールを定め、覚書を交わすという提案である。

**【審議経過】**

- ・特に指摘なし。

**《報告事項》****(1) CSR-NPO 未来交流会 (マッチング) 及びポータルサイトについて****【報告経過】**

- ・平成 27 年度の事業の一つで 7 月 16 日に交流会を計画している。行政、市民、企業、NPO などの事例紹介などを行い、交流を実施し企業と NPO などをつなぐ役割を果たしていきたい。ポータルサイトに関しても同様に登録していただき、さまざまな団体の活動情報を提供でき、交流をサポートしていきたい。

**(2) 生物多様性民間参画パートナーシップへの参加について****【報告経過】**

- ・経団連自然保護協議会の勧めにより「生物多様性民間参画パートナーシップ」へ登録をした。経団連自然保護協議会が主催する「企業と NGO 等との交流会」に参加しフォーラム活動の PR を実施した。

**(3) 東京湾大感謝祭 2014 平成 27 年度日本港湾協会企画賞受賞報告****【報告経過】**

- ・日本港湾協会では、海、みなとでの活動への表彰の制度がある。昨年の大感謝祭の実施に対し、東京湾大感謝祭実行委員会が平成 26 年度の企画賞を受賞した。

**(4) 東京湾再生のための行動計画 (第二期) への指標提案について****【報告経過】**



- ・ 審議事項（3）新 P T 設立申請の議事において説明済み

#### （5）ISO14001、環境マネジメントシステム国際規格の改定について

##### 【報告経過】

中井委員説明（経団連自然保護協議会）

- ・ 配布資料に沿って説明。

##### 【質疑応答】

（質疑）新規格で追加となる「生物多様性・自然生態系への配慮」については、どの程度実施しなければいけないかという基準は示されるのか？

（応答）ISO 規格では、定量的な基準や指標は示されない。「生物多様性・自然生態系への配慮」を含む ISO 活動の範囲・程度は、定量的であれ定性的であれ、認証保有組織の裁量に任されるが、毎年の審査ではその実施を実証しなければならない。

#### 6. その他（平成 27 年度 P T 活動状況など）

（事務局説明）

- ・ 事務局から各 PT 活動状況の説明が行われた。

（感謝祭 PT 長からの追加説明）

- ・ 東京湾大感謝祭 PT

- ①各実行委員のメンバーが確定し、主だった関連組織へのご挨拶を実施している。
- ②現在、東京湾大感謝祭 2015 の参加企業・団体組織を募集している。是非皆様のご協力をお願いしたい。
- ③感謝祭の HP をフォーラム HP 置く事に関しては、フォーラム事務局判断で実施して、セキュリティ上、運用面での打ち合わせをおこなっていく。
- ④環境省エコライフフェアでの広報・宣伝を実施して行く。

以上